

奈良カレッジズ 連携推進センター



奈良カレッジズ連携推進センター

奈良カレッジズ連携推進センターは、「奈良カレッジズ構想」を推進し、地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出や、連携による成果の教育研究および社会への還元に取り組むことを目的として、令和4年4月1日に設置されました。4部門1専門部会を設け、奈良国立大学機構が運営する奈良教育大学および奈良女子大学の教員をセンター員とし、外部機関との連携により地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出や、連携による成果の教育研究および社会への還元に取り組んでいます。当初、主に教育・研究機関等の連携からはじまった「奈良カレッジズ構想」は、自治体や民間企業等との連携も深め「なら産地学官連携プラットフォーム」として広がり、人材育成・産業振興・地域創生のための取組を推進しています。

奈良カレッジズ機関

奈良教育大学、奈良女子大学、奈良県立大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立医科大学、奈良工業高等専門学校、奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良県立橿原考古学研究所

なら産地学官連携プラットフォーム 人材育成・産業振興・地域創生



● 協働推進部門

p.4, p.5

- 地域の企業、自治体等と連携・協働して地域課題に取り組む「なら産地学官連携プラットフォーム」を運営しています。
- 産学官連携コーディネーターを配置し、共同研究やプロジェクトを推進し、企業や地域の課題解決のために機構の研究成果を還元しています。（研究成果の情報発信、共同研究のコーディネート）
- アントレプレナー教育による次世代の社会課題の解決を担う人材を育成しています。



● 地域実践部門

p.7

- 両大学の教育・研究リソースを活用して奈良県南部東部地域の課題解決の取組を推進しています。
- 奈良県南部東部地域の町村に大学と地域が連携した事業の活動拠点として、エクステンションセンターを設置し、特任教員を配置して、地域住民、自治体、企業と本機構が連携した地域活性化への取組を推進しています。



● 学学連携部門

p.3

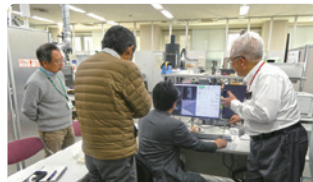
- 奈良カレッジズ構想のもと、県内高等教育機関、研究所との連携・協働体制を構築し、教育の連携を推進しています。
- 教育連携の取組として、各機関のリソースを活用した「学問祭」を実施しています。



● リカレント教育推進部門

p.6

- 奈良県内の経営者を主な対象として、地域創生・地域課題解決能力の習得、企業の成長、雇用の創出、地域の活性化を目的として、産学官が連携して教育プログラムを開発し、多彩な講座を展開しています。



● 異分野交流プロジェクト推進専門部会 (NUcross)

p.8

両大学の教職員、学生が研究、研修を進め、専門分野を越えた学際的な協働を通じ、学外とも連携し異分野・異世代交流を推進しています。



奈良カレッジズ学問祭

両大学が法人統合したことをきっかけに奈良カレッジズ学問祭が誕生しました。奈良カレッジズ学問祭は、両大学に通う学生に、学問の面白さや奥深さを感じてほしいという願いから生まれた教育イベントです。

奈良が誇る伝統文化や芸術遺産をはじめ様々な学術分野における最先端の知見を「一講義完結方式」で、合計15コマを受講者に提供しています。講師には、両大学の教員に加え、奈良カレッジズ参画機関等から研究者を迎えており、普段の大学の授業では出会えない様々な分野に触れられる1週間です。

学問祭は本機構が主催・運営していますが、両大学に「諸学への誘（いざない）」という教養科目を設置し、各大学で単位認定を行っています。

令和7年度からは、なら産地学官連携プラットフォームに参画する大学等と連携し、奈良県内の大学等に通う学生も聴講できるようになり、また、県内の高校生も聴講できるようになりました。なお、一部の大学では聴講だけでなく単位認定を行っています。

また、学問祭開催期間においては、講義の他、企業と学生の交流会等、地域を盛り上げるためのイベントを同時開催しています。

これまでの講義の一例

()は講師の所属機関

<令和7年度>

- 「微生物の魅力と可能性」(奈良先端科学技術大学院大学)
- 「日本文化と国際社会」(橿原考古学研究所)
- 「学際研究のすすめ - 観光と宇宙」(奈良県立大学)
- 「作業療法の視点で考える認知症支援と地域共生のカタチ」(奈良学園大学)

<令和6年度>

- 「博物館で広がる考古学研究の世界」(奈良国立博物館)
- 「南極氷床変遷史を東南極から見る」(奈良女子大学)
- 「奈良の建築からアジアをみる」(奈良文化財研究所)
- 「声楽って何？」(奈良教育大学)

聴講した 学生の声

- 勉強して色々知ったつもりでいたけれど、自分からアクセスしなかったから知らなかったことが沢山あるのだと思った。
- 90分で自分が興味のある分野の学問研究を紹介してもらえて、聴講して良かった。普段あまり授業を聞くことができない先生方から話を聞けたり、各分野で先生方が近年取り組んでいる活動についても聞くことができ、楽しかった。



詳しくはこちら

<https://www.nara-ni.ac.jp/research/gakumonsai/>

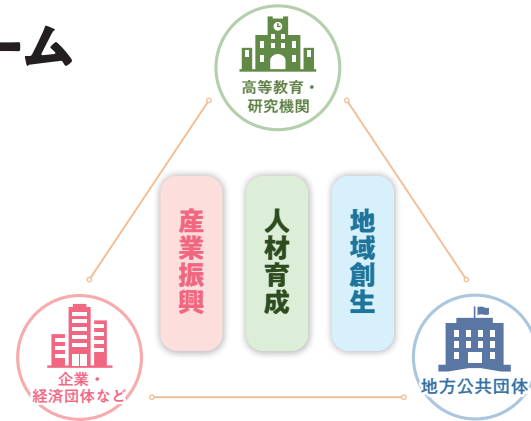


なら産地学官連携プラットフォーム

奈良県内の産業界、地域・住民、高等教育機関、地方公共団体等が連携・協働し、新たな価値を生み出す基盤として、なら産地学官連携プラットフォームを2023年11月16日に設立しました。

産学官が連携したタスクフォースを設置し、地域の重点課題である人材育成、産業振興、地域創生のための共創活動を推進しています。

本センターがプラットフォームを運営するための事務局として大学、企業、自治体等の橋渡しを行うとともに、各共創活動に対してコーディネーターによるアドバイス等の支援を行っています。



会員 42機関（令和7年10月時点）

国・地方公共団体：8 高等教育機関・研究所：11
経済・産業団体：6 企業等：17



PF参加大学研究シーズ集

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/seeds/

主な事業

奈良県内における若者の活躍支援や若者の奈良への定着を目的として次のような事業に取り組んでいます。また、その他にも奈良県内の大学による合同入試相談会や、企業と研究者の交流会を開催しています。

学生と企業・自治体等との交流会

大学生等と地元企業や自治体等との交流会を実施し、若者の奈良への定着を推進しています。



学生と企業の交流会（令和7年8月）

これまでの実績

参加企業・自治体数：33
参加学生数：96名
学生満足度：100%

参加した学生の声

- ・今回参加しなければ知ることのできなかった仕事を知ることができた。
- ・興味のなかった市町村に興味を持てた。

参加した企業の声

- ・学生の思いや考えを知ることができた。
- ・普段の説明会等では話せない本音も踏まえた対話できた。

合同入試相談会

奈良県内大学・大学院の魅力を高校生・大学生に向け、若者の県内進学と定着を目的として開催しています。



PFの取組の詳細はこちら

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/index.html

メンタリング支援制度

経験豊かなメンターを配置し、メンタリングによる学生への伴走型支援を実施しています。学生が、奈良県内で地域活性化や地域課題解決を目的に取り組む活動における、活動計画策定や仲間づくり、活動に必要な情報を提供しています。

これまでの実績

「地域に飛び出す学生支援事業補助金」に採択された学生団体等に対し、メンタリング支援を13回実施しました。



メンタリング支援の様子

学生活動発表会

奈良県内の特色ある学生活動を広く情報発信することで、学生活動の可能性、更なる支援方策を考え、今後の取組の発展を支援しています。



学生活動発表会（令和7年3月）

これまでの実績(令和6年度)

参加学生数：37名

企業と研究者の交流会

本プラットフォームに参加する大学の研究者の研究内容や企業の課題を互いに共有し、研究者と企業が意見交換を行う交流会を開催しています。

研究成果の社会実装・産学官連携

協働推進部門では、大学の研究成果を社会に還元し、社会実装を進めるために、各教員の研究成果の発掘や権利化、研究成果の社会への発信、研究プロジェクトの組織化、企業との共同研究や競争的研究資金への申請支援、スタートアップ支援等を進めています。

企業からの大学への共同研究や技術指導等についてのお問い合わせ、ご相談にも応じています。

共同研究等のコーディネート

大学と産業界との橋渡しを行い、企業との共同研究等のコーディネートや競争的研究資金の獲得等を通じて研究成果を社会実装します。

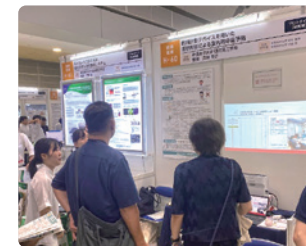
研究シーズ集



奈良教育大学



奈良女子大学



展示会への出展



わらべや日洋食品株式会社と奈良女子大学生活環境学部齋藤公美子助教、高村仁知教授との共同研究により、栄養価の高い玄米粉を使用したシュー生地の開発と焼成技術確立。大阪・関西万博会場内の2店舗を含むセブン-イレブンの一部店舗で販売。

スタートアップ支援

教員、学生からの起業についての相談対応、起業機運醸成、KSAC（関西スタートアップ・アカデミアコアリション）ーGAPファンドへの申請支援などを通して、大学の研究成果をもとにしたスタートアップの支援を進めています。

最近の主な成果

- ・奈良県「大学等発スタートアップ支援補助金」：3件採択
- ・新産業共創たわらもとReBornプロジェクト：2件採択



新産業共創たわらもとReBornプロジェクトに奈良女子大学から2名の教員が参加

アントレプレナーシップ教育

本センターでは、大学間連携により多様な知識とリソースを共有し、持続可能な社会とイノベーション創出を目指し、起業家精神と実践力を育成するアントレプレナーシップ教育を行っています。授業やワークショップを通じてリーダーシップや課題解決力を養い、地域・産業界と連携してスタートアップ支援や社会実装力の強化を推進しています。

学生主体のコミュニティ「ならコミ」が学びの環境を広げ、多様な価値観を持つ学生が互いに挑戦を促進しています。



詳しくはこちら



ならコミ募集中！



地域資源を活用した実践的な起業家育成プログラムとして、東吉野村でのアントレ合宿では社会課題解決や地域イノベーションの担い手育成を行いました。



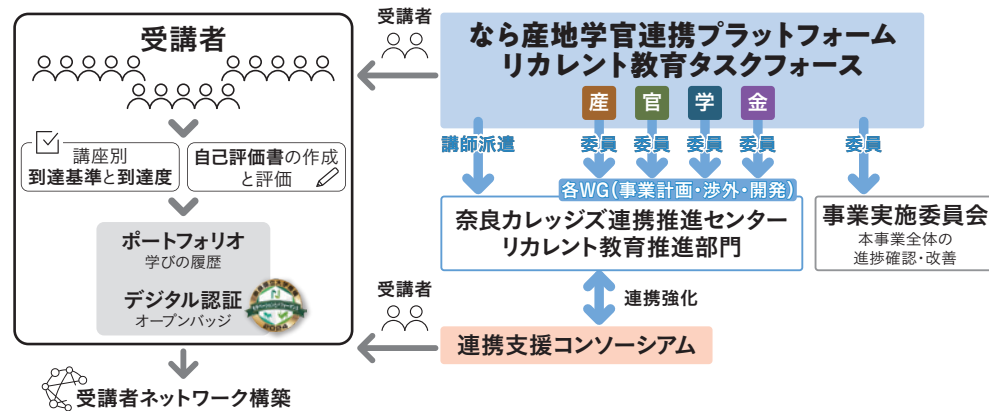
キャリアデザイン・ゼミナールの様子



リカレント教育プログラム

奈良県内の産学官金の機関が連携したリカレント教育実施体制を構築し、地域の人材育成ニーズや教育コンテンツシーズを活用した教育事業を推進しています。本事業は、令和5年度より文部科学省の採択事業として実施しており、令和6年度には4講座を開講しました。令和7年度には、新たに奈良県内の経済団体・地方公共団体・教育機関と連携・協働して、幅広い受講者層を対象としたリカレント教育講座を企画開発し、講座構成の充実を図っています。本事業を通して、講師所属機関と受講者企業との共同研究が始まるなど連携強化が進展しており、企業成長、雇用創出、奈良県・奈良市を含む地域の活性化に貢献しています。

体制図



令和6年度実施 現地講義の様子

具体の取組

- 産学官金の連携により、地域経済の活性化や経営改革等に貢献する人材を育成するリカレント教育実施体制を構築。
- 令和7年度より当事業を支援・協働する連携支援コンソーシアムを新設することにより体制を強化。
- 本機構と経済団体・自治体等が連携・協働したチーム型プログラム企画開発により地域ニーズを踏まえた教育講座を実施。
- 対面講義・オンライン・オンデマンドによる座学とデモンストレーションなどの実習を組み合わせた教育効果が高く受講しやすい講義形式を採用。
- 教育講座の学修目標を明確にし、デジタル認証（オープンバッジ付与）を実施。

令和7年度実施 講座案内▶



令和7年度リカレント教育講座一覧

講座名	連携機関
3D-Digital ものづくり実践講座-2025	奈良高専、DMG森精機、島津製作所
ならの歴史・文化探究講座-2025	橿原考古学研究所
ESD/SDGs連続オンラインセミナー	
保育・学校教育現場において必要とされるソーシャルワーク(福祉)の視点	
学校教育でのデジタル活用講座(ベーシック・アドバンスド)	
同友会大学	奈良県中小企業家同友会
ならと近鉄電車との関わり	生駒市、生駒商工会議所
ちよっと尖った食と健康実践講座	生駒市、生駒商工会議所
奈良で学ぶ ネイチャーポジティブ経営講座	大和信用金庫、大和ハウス工業、ビーフォレストクラブ、健一自然農園、みんなとふるさと、教育総研

上記講座のほか、リカレント教育関連講座も開講

詳しくはこちら



<https://www.nara-ni.ac.jp/research/recurrent/>



奈良型エクステンション

本部門では、両大学の教育・研究リソースを活用して、全国でも屈指の過疎地域である奈良県南部東部地域の課題解決の取組を推進しています。奈良県南部東部地域の町村に大学と地域が連携した事業の活動拠点として、他に類をみない大学＝地域協働プラットフォーム＝「奈良型エクステンションセンター」を設置し、地元から特任教員を採用・配置し、地域住民、自治体、企業と本機構が連携した地域活性化への取組を推進。エクステンションセンターがハブとなり、両大学の文理多様な分野の教員と学生が研究・教育・社会貢献に関わっており、関係人口の創出と増大に貢献しています。

東吉野村での活動

エクステンションセンターに設置した特任助教のリードにより、廃校になった小学校の利活用を考え、実施する住民の団体（ひよしカレッジ四郷）が発足しました。村の課題を自ら解決すべく、テーマ（図書室・子どもサポート・大人の学び場など）を決め部会活動を実施しています。令和6年度には村民の協力を得て図書室を開室しました。退職教員による図書室の管理や、勉強会も実施しています。

自治体から予算を獲得し、上記の活動を推進しています。（例：子どもの遊び場づくりワークショップ）奈良女子大学共生科学センターが実施する自然体験講座の支援を行うほか、教育美術教育専修工芸研究室が村のアートイベントに協力しています。

また、奈良県の温暖化防止活動の実践場所として提供しています。



ワークショップの様子



留学生サマープログラムの受け入れ

下北山村での活動

奈良教育大学が、村の課題解決に協力しつつ学校実習を行う新たな形態の「地域協働型学校実習」を教育委員会と連携して実施しています。令和7年9月に行われた実習では、参加院生が約1か月間村に滞在しました。

また、村発の授業「下北山学」の受講生を中心として、授業外でも村に協力する学生ネットワーク（つちのこアンバサダーズ）が誕生し、農作業の手伝いや村のキャンプ場・食堂でのアルバイトなどを実施しています。卒業生が夏休みを利用して、村の子どもを対象とした書道教室を開催するほか、村の資源を生かした特産品を学生と村の地域商社が共同開発・販売、企業版ふるさと納税の返礼品を地域商社・ANAあきんど（株）と学生が共同開発しました。

さらに、奈良女子大学との人口予測調査研究が、村の総合計画に反映されました。



援農に励む学生



毎月の村報に活動を掲載

下市町での活動

下市町では、毎年サービスマンシップ授業を年間2科目ずつ実施しています。

- 観光協会などと協力し子供向けガイドツアー企画を立案報告（令和5年12月）
- ドローン体験イベントを企画開催（令和6年12月）

また、総務省子供農山漁村交流推進支援事業に参画し、両大学附属小学校の児童の下市農泊体験を支援しました。（令和5年度）加えて、令和7年3月には、奈良女子大学工学部教員の研究成果の公開イベントを実施しました。



学生の下市町訪問



ドローン体験イベント

詳しくはこちら



<https://nara-extension.hatenablog.com/>

万葉プロジェクト



三菱みらい育成財団助成金
(カテゴリー4)に
採択されました!

<https://www.mmfe.or.jp/partners/8065/>



本プロジェクトは、奈良の歴史や文化を象徴する『万葉集』を出発点とし、地域への学びを深め、“自省”・“傾聴”・“共創”により統合的な実践知を育む探究型教養教育です。

対話型協働学習によって歴史的・文化的知見を深め合い、それらの学びを魅力に転換し観光企画や街歩きといった実践に応用するPBL型演習を展開しています。実践後には、“自省”を通じて計画と達成を振り返らせる内面的対話を促進し、加えて、仲間との「聞き合い」による“傾聴”を通じて、当事者性や他者性の認知や自己認識の客観視を深め合います。さらに、他者の視点や経験を引き受け、イメージし、ことばに返しながら“共創”し合うことで個々の知の統合を図ります。こうした段階的かつ循環的な学びを通して、非認知能力を実践的に育み、正解のない問いに向き合いながら、さまざまな課題を主体的に捉え、他者と協働して思考を深め合う力を養い、変化の時代を創造的に切り拓いていく人材の育成を目指しています。



小大連携によるPBL型街歩き授業
奈良女子大学記念館前にて
(令和7年1月)



検証と共有のワークショップ
奈良カレッジズ交流テラスにて
(令和7年2月)

小大連携の発展として、多機関(大阪大学、和歌山大学、東京藝術大学、慶應義塾大学)の研究者と協働して、奈良女子大学附属小学校6年生のしごと合宿(修学旅行)を企画実践しました。現地に足を運び、災害をくぐり抜けた伝承や継承について学びました。

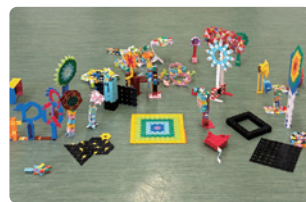


宮城県石巻市と福島県双葉郡をめぐるしごと合宿
大阪大学福島拠点にて(令和7年9月)

奈良の地元産業と連携して、奈良女子大学附属小学校にて小大・産学連携授業を企画実践しています。奈良墨の製造メーカー・墨運堂、奈良発LaQパズルのメーカー・ヨシリツとの授業開発を行っています。



奈良墨の体験授業(3年生)
奈良女子大学附属小学校にて
(令和7年7月)



LaQパズルで“花火”を表現(3年生)
奈良女子大学附属小学校にて
(令和7年7月)

奈良カレッジズ交流テラス

詳しくはこちら

開館時間: 平日 8時30分~17時

土日祝・時間外のご利用は別途お問い合わせください。

収容人数: 最大約50名



https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/04_nucross/

「奈良カレッジズ交流テラス」は、両大学に所属する教職員や学生・院生の専門分野を超えた交流をサポートし、教職員同士や地元企業とつながるコミュニティを育むためのスペースです。プラットフォームを活用した取組・イベントや、本機構と連携した取組を行いたい場合はご連絡ください。本機構法人本部棟の1階にあり、フリースペースとしてもご利用いただけます。

大テーブル



要予約

再度テーブル付きチェア
を利用し、打ち合わせ、会議の
開催も可能です。

発表スペース



要予約

スクリーン、プロジェクター、
マイク等の機器を貸し出して
います。

フリースペース

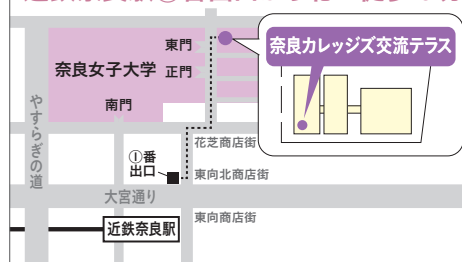


予約不要
先着順

ソファ席、テーブル席に
コンセントがあります。



近鉄奈良駅①番出口から北へ徒歩6分



お問い合わせ先

奈良国立大学機構 奈良カレッジズ連携推進センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3411

Mail: yamato-class@cc.nara-wu.ac.jp

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/

センターHP

